

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公表番号】特表2002-510489(P2002-510489A)

【公表日】平成14年4月9日(2002.4.9)

【出願番号】特願2000-542450(P2000-542450)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/16 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 P 31/22 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/17 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 31/16

A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 31/22

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 19/00

A 6 1 K 37/12

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月7日(2006.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カルボキシ末端ドメインに少なくとも1つの改変されたセリンまたはトレオニンホスホアクセプター部位を含んでなる、単離されたインターフェロン調節因子3（IRF-3）または因子7（IRF-7A）タンパク質であって、改変型セリンまたはトレオニンホスホアクセプター部位により、IRF-3またはIRF-7Aタンパク質によるサイトカイン遺伝子の活性化が、相当する野生型IRF-3またはIRF-7Aタンパク質によるサイトカイン遺伝子の活性化よりも増強されている、上記タンパク質。

【請求項2】

セリンまたはトレオニンホスホアクセプター部位が、リン酸化により改変されているかまたは酸性側鎖を有するアミノ酸残基を含んでいる、請求項1に記載の単離されたIRF-3またはIRF-7Aタンパク質。

【請求項3】

アミノ酸残基がアスパラギン酸である、請求項2に記載の単離されたIRF-3またはIRF-7Aタンパク質。

【請求項4】

タンパク質がSer-396、Ser-398、Ser-402、Thr-404および

び S e r - 4 0 5 の少なくとも1つから選択される部位で改変されている、請求項1～3のいずれか1項に記載の単離された I R F - 3 タンパク質。

【請求項5】

配列番号2 (I R F - 3 (5 D)) を有する、請求項1～4のいずれか1項に記載の単離された I R F - 3 タンパク質。

【請求項6】

I R F - 7 A タンパク質が S e r - 4 7 7 および／または S e r - 4 7 9 で改変されている、請求項1～3のいずれか1項に記載の単離された I R F - 7 A タンパク質。

【請求項7】

配列番号9 (I R F - 7 (2 D)) を有する、請求項1、2、3、または6に記載の単離された I R F - 7 A タンパク質。

【請求項8】

I R F - 3 由来の S e r - 3 9 6、S e r - 3 9 8、S e r - 4 0 2、T h r - 4 0 4 および S e r - 4 0 5 のカルボキシ末端ドメイン、および I R F - 7 A 由来のアミノ末端ドメインを含んでなる、組み換えインターフェロン調節因子 (I R F) タンパク質。

【請求項9】

配列番号11 (I R F - 7 (1 - 2 4 6) / I R F - 3 (5 D) (1 3 2 - 4 2 7)) を有する、請求項8に記載の I R F タンパク質。

【請求項10】

請求項1～9のいずれか1項に記載の I R F タンパク質をコードするヌクレオチド配列。